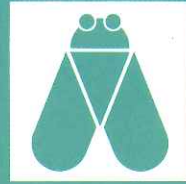




第5回 緑の国勢調査

'95 身近な  
生きもの  
調査



●案内パンフレット●



環境庁



身近な  
'95 生きもの  
調査



# 今年のテーマは“セミ”

## 「身近な生きもの調査」が始まります

1984年と1990年に行われた「身近な生きもの調査」。3回目の調査が今年から始まります。今回から年ごとにテーマを決めて、3年間にわたって行います。

今年のテーマは「セミ」。学者や専門家だけでなく、多くの国民の皆さんに参加していただくことにより、皆さんの住む町や地域、さらには日本全体の自然を診断する重要なデータを得ることができるのです。多くの方々の参加をお待ちしています。



## セミの「ぬけがら」を集めてください

セミの「ぬけがら」はたくさんの方が教えてくれます。たとえば、「ぬけがら」があるということは、その種類がその場所の近くで幼虫時代をすごしたことの確実な証拠になります。日本に生息するセミは32種類。同じ地域に生息しているのは多くても10種類以内ですから、名前を調べるのはそれほどむずかしいことはありません。それに、「ぬけがら」はセミにとってはいらなくなった殻ですから、いくら集めてもセミに迷惑をかけることはありません。

集めた「ぬけがら」は、フィルムケースに入れて送ってください。

## 鳴き声を聞き分けてください

ミーンミーン、ジージー、カナカナ、ゼー





# 調査の 参加方法



## 1 申し込み

返信用切手を同封のうえ、「申し込みカード」をお送りください。  
募集の締め切りは6月末日です。



## 2 調査資料の 受け取り

お申し込みいただいた方には調査に使う資料として、

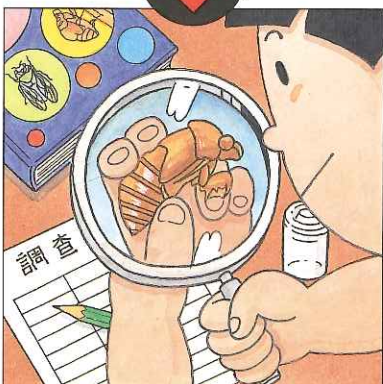
- 調査のてびき
- 調査票

をお送りします。



## 3 現地調査

今年の夏の何日かを「セミ調べ」にあててください。調査は皆さんのふだんの生活の範囲内で行っていただければ結構です。なお、セミの成虫を採集する必要はありません。



## 4 調査票の 返送

返送期限は平成7年9月末日。「ぬけがら」を入れたフィルムケースと記入済みの調査票をまとめて送ってください。



ムゼーム、ツクツクオーシなど、セミの鳴き方は千差万別。あなたの耳で確かめてください。

鳴き声が聞き分けられれば、あなたの身の回りに何種類のセミが生息しているかがわかります。

### セミと皆さんのかかわりを 教えてください

子供の頃、夏休みになると捕虫網片手に一日中、セミ捕りに熱中した思い出はありませんか。

セミはカブトムシやクワガタムシと同様、子供たちにはとても人気がありますし、俳句や短歌にも数多く登場するなど、私たちにたいへんなじみ深い虫です。

セミにまつわる話、例えばどんな名前と呼ばれているか、セミの声がとてもよく聞こえる場所、セミに関する体験など、セミとあなたとのかかわりを教えてください。





## 生きもの地図をつくります

「ぬけがら」は正確な分布図を作るための重要なデータとなります。皆さんから寄せられたデータで、セミの種類ごとに全国の分布図（生きもの地図）をつくります。

## 自然の変化をさぐります

生物は種類ごとに生息する環境がある程度まっています。セミの場合も、たとえばアブラゼミは樹林があれば市街地でも生息できますし、ハルゼミはマツ林の近辺にのみ生息するといったように、生息するセミの種類によってその環境を知ることができます。

セミの種類ごとに分布図をつくっていくことによって、緑地の減少や都市化の影響など、自然の変化の様子をさぐることができます。

## お手元に届いた調査結果から、身の回りの自然について考えてください

調査に参加いただいた皆さんには、全国の分布図や皆さんの身近な地域の情報などを盛り込んだ調査結果（報告書）をお届けします。

調査結果をご覧になって、皆さんの身の回りの自然や環境の変化について考えてみてください。

## 緑の国勢調査とは

緑の国勢調査は、環境庁が実施する日本の自然に関する総合的な調査で、正式には「自然環境保全基礎調査」といいます。

全国の植生や動植物の分布、海岸や河川、湖沼の改変の状況などが調べられており、「身近な生きもの調査」もそのなかの一つとして行われています。

身近な  
'95  
生きもの  
調査



- 調査資料等の郵送料は、参加者の皆さんにご負担いただきます。
- 調査結果（調査票）は9月末日までに、環境庁あてご返送ください。

■ お問い合わせは

〒100 東京都千代田区霞が関1-2-2  
環境庁自然保護局計画課  
自然環境調査室  
☎03-3591-3228